

(様式7)

公共事業継続箇所評価調査

評価確定日(平成25年09月30日)

事業コード	H25-建-継-07		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	1次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道103号		担当課長名	柴田 公博
箇所名	大館市葛原		担当者名	齋藤 篤
総合計画との関連	政策コード	10	政 策 名	交通基盤の整備
	施策コード	02	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県管理国道の整備推進

1. 事業の概要

事業期間	H11 ~ H28 (18年)		総事業費	55.0億円	国庫補助率	7/10
事業規模	延長L=5,460m、幅員W=6.5(12.0)m (2.5+1.5+3.25+3.25+1.5)					
事業の立案に至る背景	<p>本路線は青森県青森市を起点とし、秋田県大館市に至る延長117kmの幹線道路であり、秋田県と青森県の県境にある国立公園十和田湖を経由地とする観光道路であるとともに、秋田県北部の中心である大館市と鹿角市を結び、地域の産業・経済の交流を図る重要な路線である。</p> <p>本路線にける大館市沢尻地区は、人家連坦地域であるが幅員が狭く、歩道等の設置が無いことから地域住民の安全が確保されていない状況である。冬期間は堆雪により大型車の交差が不能になることもあり、早急な対応が必要である。また、近年は災害により道路通行規制を度々受けている。</p>					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・当該区間を整備することにより、安全かつ円滑な交通の確保がなされ、十和田八幡平国立公園などの優良な観光資源を生かした産業、経済、文化などの多目的にわたる県北地域の活性化が期待される。 ・道路の防災対策・危機管理の充実(第1次緊急輸送道路) 					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		7,000,000	5,500,000	-1,500,000	
	経費内訳	工事費	4,972,232	3,827,975	-1,144,257	土工、橋梁工等の見直しによる減
		用補費	1,233,807	1,038,541	-195,266	不動産鑑定や建物調査結果による減
		その他	793,961	633,484	-160,477	事業費減による事務費の低減等
	財源内訳	国庫補助	3,850,000	3,850,000	0	
		県 債	1,417,000	1,485,000	68,000	
その他		0	0	0		
一般財源		1,733,000	165,000	-1,568,000		
事業内容					<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正により補助率が変更となった。 ・工法等の見直しによる減額。 	
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度末で事業進捗率73%である(用地進捗率99%)。 ・平成20年12月には大館市葛原地域内の区間L=2.6kmについて部分供用開始。 ・事業が順調に進捗しているため、事業完了年度を3年短縮する(H31からH28に調整)。 					
事業推進上の課題	特になし。					
関連する計画等	ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」					
情勢の変化及び長期継続の理由	<p>平成23年12月 日本海沿岸東北自動車道 二井田IC~大館南IC間供用開始。</p> <p>平成25年度 日本海沿岸東北自動車道 大館北IC~小坂JCT間供用開始(予定)。</p>					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率				
	指標式	改良済延長/路線実延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無	
	目標値 a	93 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実績値 b	93 %				
達成率 b/a	100.0 %		把握の時期	平成25年4月		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次緊急輸送道路であり、他に機能が競合する路線は存在しない。 ・当該区間は「道路構造上の欠陥箇所数」が2箇所 (Rmin=80m、imax=6%)あり、堆雪幅がなく歩道もない。また、通学路指定地域であり早急な改良が必要である。 ・事故率は71件/億台kmと高い。 	12点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ・大館市沢尻地区の現道は、JR花輪線と隣接し、特に冬季は日陰となり路面凍結が発生し、たびたびスリップ事故が発生している。 ・近年は、災害により度々通行規制を受けている。 	10点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路の指定路線であり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画上の重要路線である。 ・当事業区間は、近隣に位置する十和田湖・大湯温泉・大滝温泉等へのアクセス道路として地域振興を支えている。 	30点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の費用便益比は1.2である。 総費用の現在価値 65億円 総便益の現在価値 78億円 ・計画交通量は6,200台/日 (H42) となっている。 ・改良工については、盛土材に流用土を用いたり、排水計画を見直すことでコスト削減を図った。 ・橋梁工については、橋梁形式・架設計画等を検討しコスト削減を図った。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は計画通り進捗しており、平成25年度末で事業進捗率82%に達する見込みである (用地進捗率100%)。 	20点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III) 優先度は高く、事業は引き続き実施するべきである。	92点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

引き続きコスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

別表 6 (19)

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (H25-建-継-07)
 箇所名 (大館市葛原)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員<5.5m 最小半径<100m 最急勾配>5% 冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	8	8	
			2箇所	5		
			1箇所	3		
			0箇所	0		
			0箇所	0		
		道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	4	
			4件該当	6		
			3件該当	5		
			2件該当	4		
			1件該当	2		
			該当項目なし	0		
		計		15	12	
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無	あり	5	5	
			なし	0		
			なし	0		
		市町村合併支援道路	位置づけあり	5	0	
			位置づけなし	0		
		特有の課題の有無	あり	5	5	
			なし	0		
		計		15	10	
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送路	第1次輸送路	10	10	
			第2次輸送路	8		
			第3次輸送路	6		
			指定なし	0		
		県内90分交通体系、全国1日交通圏等に 関連	あり	10	10	
			なし	0		
		社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10	
			低下傾向	6		
			必要性が低い	3		
		計		30	30	
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
			1.0未満	0		
		計画交通量	5,000台/日以上	5	5	
			1,000台/日以上~5,000台日/未満	3		
			1,000台/日未満	0		
		コスト縮減	あり	5	5	
			なし	0		
		事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	
			既投資額の部分的損失	4		
			既投資額の損失が少ない	3		
計		20	20			
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	10	
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			未着手	0		
		用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			未着手	0		
計		20	20			
合計				100	92	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		